

国安地区タウンミーティング開催報告	
日時	令和2年9月25日（金）19：30～21：00
場所	国安公民館2階会議室
参加者	【地域側：10人】国安地区連合自治会長、高田自治会長、桑村自治会長、国安下自治会長、団地自治会長、新市自治会長、愛護班連絡協議会長、国安小学校長、東予西中学校PTA会長、老人クラブ連合会長 【行政側：4人】市長、国安公民館長、政策企画課長、公共施設マネジメント推進係長
次第	1.開会 2.国安地区連合自治会長 挨拶 3.市長挨拶・総合計画のポイントと事業説明（別添資料①） 4.テーマ「公共施設のあり方」に関する現状等説明（別添資料②）・意見交換 5.まとめ・閉会
概要	
国安地区連合自治会長 挨拶	本日のタウンミーティングでは、「総合計画のポイント」、「公共施設のあり方」について市から説明がある。地域の皆さんも一緒になって意見をいただきながら進めていきたい。
市長 事業説明	<ul style="list-style-type: none"> 西条市は今後30年間で約3万人の人口減少が予測されている。（約108,000人：2015年実績 → 約78,000人：2045年時点の人口推計値） 上記3万人の内、多くが15歳～64歳→働く世代がいなくなることで、地域や産業の課題増が予想される。 「人口減少・少子高齢化への対応」を最重要課題とした総合計画後期基本計画を策定。2045年時点の人口推計値 約85,000人を目指す！ 優先目標を3つ設定。A)健康寿命の延伸、B)働きがいの創出・経済活力の維持、C)経営感覚のある行財政運営の実践。 市民・事業者の皆さん、行政がともに力を合わせて、将来世代にバトンタッチできる「持続可能な西条市」を実現しよう。
テーマに関する現状等	<ul style="list-style-type: none"> 西条市の公共施設は、同規模自治体の1.6倍(延床面積)あり、その半分以上が老朽化(築30年超)している。 公共施設マネジメントとは、施設の安全管理と財源確保を両立するための適正配置を実現することである。 人口減少・少子高齢化を踏まえ、今後の行政サービスにおいて、削減余地があるのは公共施設のみである。 建物は縮減しても機能やサービスの向上を図る「縮充」の発想で施設のあり方を見直すことが大切である。 市民のみなさんと情報を共有し、思いを共感し、新しい公共施設のかたちを考える共創を目指していきたい。
参加者の発言要旨	
参加者の発言要旨	市の発言要旨
<p><国安団地について></p> <p>入居者数が減少しているので、団地としての施設がなくなるのかと心配していた。長寿命化を進めるとあったが、工事など詳しいことがわからないので教えてほしい。</p>	<p>国安団地の5棟については、令和3年度に外壁改修を行う予定である。</p> <p>市全体を見ると、建物の老朽化と高い空室率(約30%)の問題を抱えており、建て替え時期に合わせて統廃合することも考えていかなければならない。</p> <p>しかしながら、市営住宅の確保は、セーフティネット(社会保障)の意味合いからも市の責務であると考えており、また、災害時における活用なども見据えた施策であると認識している。</p>
<p><小学生の遊び場所について></p> <p>国安地区には公園が多くてありがたいが、その反面、道の狭さや暗さから、交通事故や不審者に対する不安を抱いている。</p> <p>放課後、学童保育に通う子どもと小学校・公民館で遊ぶ子ども達と一緒に過ごすことができる場所があったらいいと思う。</p>	<p>西条市では、学校の空き教室の他に学校施設とは離れた場所でも放課後児童クラブを運営している。</p> <p>可能であれば学校施設に移すという方針であるが、先生方の負担増とならないように、支援員や指導員を配置しながらやっていきたい。</p> <p>公園を含め、地域ぐるみで子ども達を緩やかに包み込めるような施設運営をしたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨
<p><小学校・公民館の複合化について></p> <p>地域づくりにおいて、世代を超えた交流が自然に生まれる環境を整えることが重要だと考える。</p> <p>実際に高齢者が子ども達と関わることは良い刺激となり、活力を与え、子ども達にとっても高齢者を敬う心が芽生えると思うので、小学校・公民館の複合化に賛成する。</p>	<p>おっしゃるとおりである。複合化には、施設運営の効率化という側面だけではなく、地域コミュニティ（地域社会）の活性化という効果が期待できる。</p> <p>高齢者は子ども達から元気をもらい、子ども達は高齢者から知恵をいただくという相乗効果を期待し、施設を集約することで多世代の交流が促進される環境を作っていく。</p>
<p><学校施設の複合化について></p> <p>地域内にある施設をまとめていくにあたり、学校を核にさせていただけるのはありがたい。</p> <p>ただ、国安校区においては、児童数がそれほど激減しない（1学年1クラスを維持できる）見込みであるため、この状態で他の機能を複合化すると、どんなふうになるのか想像できない。</p>	<p>静岡県焼津市では、小学校と公民館を複合化することで、図書室や家庭科室などを地域住民と共用にした。児童が使わない時に開放している。このことで、コミュニティ活動や世代間交流が促進されたというメリットが挙げられている。</p> <p>一方で、人の出入りが増えることで防犯面等の課題もある。</p> <p>いずれにせよ、地域運営の良い雰囲気を作っていくには、こうした施設を核にという考えは大切にしたい。</p>
<p><公共施設の統廃合について></p> <p>合併後、施設が少なくなったような印象はない。今までと同じように経費を使うのであれば、合併した意味がない。</p> <p>縮小や統合により、施設数を減らしていくのよいと思う。</p> <p>何十年か前(約50～60年前)には、旧東予市・旧周桑郡(丹原町・小松町)において、中学校が統合した。</p> <p>他の公共施設においても、今の時代、少々離れていても行くと思うので、市にも決断してもらいたい。</p>	<p>国安地区では東予中央保育所を国安幼稚園に統合し、認定こども園へ移行する準備を進めている。</p> <p>小中学校について、統廃合はしないという方針であるが、今後、保護者や地域から求める声が上がれば、地域のみなさん、先生方等の声を聞きながら慎重に進めていかなければならないと考えている。</p> <p>丁寧に説明をしながら、共有・共感・共創の気持ちでやっていかなければいけないと思っている。</p>
<p><公共工事費について></p> <p>これから統廃合を進めていくにしても、お金がかかってくると思う。</p> <p>古いものを壊し、新しいものを建てるにあたり、公共工事費は高額の影響がある。公共工事費の見直しはしないのか。</p>	<p>工事基準があるので費用が割高になるという問題もあり、最近では、公共の設計に基づいた工事発注ではなく、民間事業者に設計と工事をセットで発注し、工事費の圧縮を図る手法が出てきている。</p> <p>今後は民間活力の導入による工事費の低減と、集約・複合化など施設のあり方（縮充）をあわせて考えていかなければならない。</p> <p>これから予定している道前クリーンセンター等の大規模施設の整備には多額の工事費が想定される。施設整備・運営をどうしていくかは、まさにご指摘のとおりで、少しでも安価に市民の皆さんへ良いサービスを提供できる方法を考えたい。</p>
<p><公共施設の耐用年数について></p> <p>各公共施設の「耐用年数」は建築年度に関わらずあまり変わっていないように感じた。</p> <p>同じ材質であれば、数十年前に建築したものより、最近建築したものの方が、耐用年数が長くなるのではないのか。</p>	<p>今回、市が提示している耐用年数は、財務省が定めている「法定耐用年数」であり、大きくは変更されていない。</p> <p>なお、この法定耐用年数と実際に使用できる期間「実耐用年数」は異なるもので、例えば、鉄筋コンクリート造の建物(学校施設)は、法定耐用年数が47年に対し、実耐用年数はそれ以上に使用できる場合もあり、建物の条件によって様々である。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨
<p><公共施設の整備について> 昔と比べて、施設の建て替えだけでなく、補強技術も上がっているの、実耐用年数は延長できると思う。 公共事業は高額なお金が必要だとの話もあったが、こんなにお金がかかっているとは知らなかった。これから子ども的人数が減っていくので、まずいと思う。考え直さないといけない。</p>	<p>これからは、施設の整備や運営に民間の活力を導入することで費用を圧縮できるのでは、と思っている。 また、例えば施設を売却する場合、壊すにも多額の費用がかかるので、買い手がいるのであれば、現状のままで売却していくようなことも可能ではないかと思っている。</p>
<p><駐車場の確保について> 小学校・公民館を一緒にするのは良いと思うが、車を主な移動手段としている西条市においては、駐車場の確保が重要だと思う。 広い空間は災害時に仮設住宅の建設場所にもなり得るので、施設整備の際には駐車スペースの確保をお願いしたい。</p>	<p>おっしゃるとおりで、駐車スペースの確保は、利用者の利便性向上の観点だけでなく、災害時のスペース確保という意味合いからも必要であり、駐車場に限らず、多目的に使う発想が必要であると考えます。</p>
<p><地域の活動について> 今年はコロナの影響で、予定していた行事をほとんど実施することができなかった。また、行事を実施しようとする時に、愛護班・PTA・自治会など、各種団体にいろいろ呼び掛けるが役員が十分に集まらない。 今、国安は「チームKUNIYASU」というのを立ち上げている。国安は「子どもを大切にしよう」を目標にし、活動を頑張っていきたいので、市にも協力をお願いしたい。</p>	<p>今年はコロナの影響で多くの行事が中止となり、これをきっかけに一度辞めてしまうと、再度立ち上げることが難しくなる。 国安地区では、地域自治組織を確立していこうとする前段として「チームKUNIYASU」を作ってもらった。 地域が抱える課題を地域の皆さん、そして行政も一緒に対応していきたい。総合計画後期基本計画の中で「みんなで実現しよう」という言葉を使ったが、主役は地域の皆さんだと思っている。地域だけに委ねるのではなく、行政も伴走しながら地域コミュニティを守っていかなければならない。</p>
<p><老人クラブの活動について> コロナの影響で何も事業ができていないので、今年予定していたものは来年、来年開催分と別機会に催したいと考えている。その際、小学校の体育館を使えるようにしたい。 しかし、老人クラブは高齢のため、世話をしてくれる人が何人かいないと活動しにくい。昔と違って今は75歳くらいまで仕事をしている人もいるので無理を言えない。老人クラブも事業がやりにくくなっている。</p>	<p>老人クラブに限らず、従来の枠組みではこれまでどおりの活動が難しくなってきたと思う。好きなことをやりたいのに人員確保ができず呼ぶ方も呼ばれる方もストレスになってはいけない。 これからは、枠にこだわらず仲間になって楽しくサークルができた、趣味で生きがいを求めたりできてもいいのではないと思う。 学校施設の利用は時間割の関係でなかなか難しいが、公民館も併せてうまく使っていただけたらと思う。</p>
<p><本谷温泉の再開について> 本谷温泉が長い間休館しているがどうしたのか。本谷温泉の川を越えた隣の広場には新しく施設ができて子ども達も遊んでいるのに本谷温泉が再開されないのは、意味があるのか。</p>	<p>4月に交代した指定管理者から、コロナの影響等により運営困難との理由で、撤退の申出があり、4月以降一度も開館しないまま休館状態が続いている。 このため、新たな指定管理者の選定を行っていたところ、先般、管理者が決定し、来年1月からの営業再開に向けて準備を進めている。 また、隣接する本谷公園内にオープンしたフォレストアドベンチャーは、民間が運営するアウトドア施設である。 西条市の作った観光会社ソラヤマいづちが誘致に成功したもので、多くの皆さんに利用して頂いている。非常に人気な施設であり、温泉の再開時には、セットでの利用促進を図っていきたい。</p>
<p>まとめ</p>	<p><市長> 人口減少問題によって、これまでとは形を変えて取り組むことが多くなる。施設整備などのハード面だけでなく、ソフトの部分では地域づくりということで「チームKUNIYASU」を立ち上げていただいている。抱える課題は大きいですが、みんなで一緒になって実現しようという姿勢で、提言をいただきながら進めていきたい。 <国安地区連合自治会長> 今後も国安地区の発展のために皆さんにご尽力いただきたい。</p>

<当日の様子>

